

入園しませんか？

園長 宇田津 円



コロナ、コロナと言っているうちに、早5ヶ月が過ぎてしまいました。いろいろと捨てる行事が多く、充実さに欠ける5ヶ月間ではなかったかと反省しております。四国のうず潮ではないですが、うずの中に入るとそれに任せて、自分を失っていくのでは？うずにも一定の速度がありそれに気づくべきだと最近、こういう中にあるても決められたカリキュラムを平常心をもって、はかしていくべきことがわかってきました。

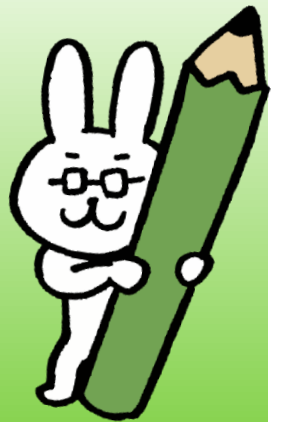
先月から、各クラスのリーダー職員が集まり、クラス別のひとりひとりのお子様全員のケース会議を始めました。「ひとりひとりに合った人間づくり」研究会と名付けました。

クラス担任が見ているひとりひとりのお子様の姿と、別のクラスの職員や園長が見ているその子の姿は、随分と違って、勉強になるなと思いました。

こういうことをしながら、個性を削らずに総合的な力をつけていきたいと願っています。

また、保護者の皆様のお力をお願いする事になるかも知れません。

教育年齢



「教育は3才からでは遅すぎる」
誰が決めたのか知りませんが、教育は3才からと言うことばがいつの間にかはびこっていました。私も、そのことばに惑わされて自分の子どもを3才から幼稚園に入園させました。

それから気付いたことですが、子どもの教育は3才からでは遅すぎました。アメリカの医学博士の中には、「教育は胎内にいるときから始まる」と言う人もいます。

ですが、預かる側からすると、出生してから2ヶ月くらいからこども園または保育園に預けるのが一番いいのでは、と思います。音の教育にしる、食育にしる、色々な面で「この月齢で始める」と言うのがあります。



☆ご入園おめでとうございます

一くま組(3歳児)

まつら こうき

松浦 昂樹 くん

☆今月の予定

7月1日(水)

晴れのとき

プール指導が始まります
(年長児のみ)

雨のとき

イメージトレーニング
(室内)

